

Coffee



A strategy board game for 2 players
by Néstor Romeral Andrés

はじめに

Coffee(コーヒー)は、Néstor Romeral Andrésによってデザインされた2人用アブストラクトゲームです。ゲームの目的は自分の色のコマで直線を作るか、相手が白い棒を正しく置くことができないようにすることです。

黒あるいはオレンジのコマに棒を置くとコーヒー豆のように見えます。このため、名前が'コーヒー'なのです。

内容物

これが**コーヒー**をプレイするのに必要な物です。

- 1辺が最大5マスの六角形ボードまたは1辺が最大7マスの四角形ボード(ボードの端が色づけされているため、ボードのサイズを任意で決めることができます)。
- 黒とオレンジのコマ
- 小さな白い棒

ゲームルール

ボードの**サイズ**と勝利条件の '**n**' (1列のコマ数)を決めます。'**n**'はボードの1辺よりも大きくすることはできません。

例:

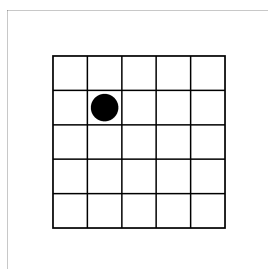
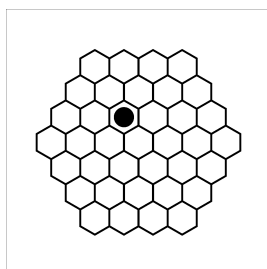
- 1辺が4マスの六角形ボード。4コマ並べれば勝ち。
- 1辺が6マスの四角形ボード。5コマ並べれば勝ち。

ボードに何も無い状態から始めます。

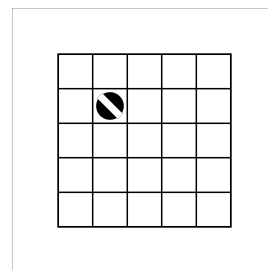
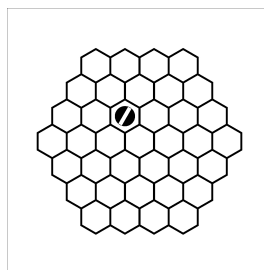
各プレイヤーは黒かオレンジの1色を担当します。

互いの合意のもとでパイルールを適用しても構いません(黒プレイヤーの初手の後にオレンジプレイヤーは色を交換する)。

黒プレイヤーは空きマスにコマを1個置き、その上に白い棒を置いていずれかの方向(六角形ボードなら3方向、四角形ボードなら4方向)を指し示します。

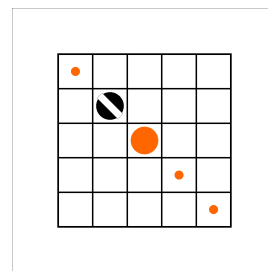
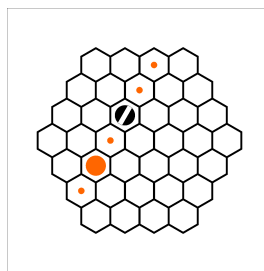


黒プレイヤーは 'hex-4, n=4'ゲーム または 'sq-6, n=4'ゲーム にコマを1個配置

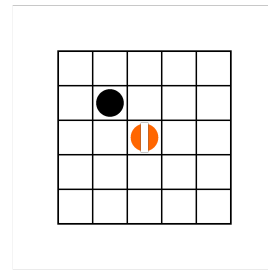
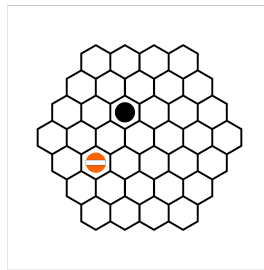


そして黒プレイヤーはその上に棒を置き、いずれかの方向を指す。

以降はオレンジから始めて交互に手番を行います。手番ではまず棒で指し示された方向の空きマスにコマを1個置き、次にその上に棒を置いて方向を指し示します。



オレンジプレイヤーは棒で示された方向の空きマスにコマを1個置く。(他に配置できる場所はオレンジで図示)



次にオレンジプレイヤーはその上に棒を置き、いずれかの方向を指し示す。

次のプレイヤーの**空きスペース**がなくなるような棒の置き方はできません。

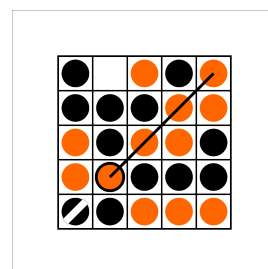
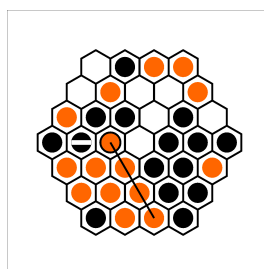
ゲーム終了

次のいずれかでゲーム終了です。

- 自分の色のコマで'**n**'コマの直線を1つ作ったプレイヤーの勝ち('n'は勝利条件)
- 棒を正しい位置で(訳注:つまり空きスペースがある方向を指し示して)置けなかったプレイヤーの負け

同一手番内で両方のケースが発生した場合は前者が優先されます。

引き分けはありません。



オレンジプレイヤーの勝ち